

平成16年度事業報告 1/2P

	事業名	担当	時期	概要
1	理美容商品等の市場調査	調査委員会	平成11年1月1日～ (継続事業)	会員会社の出荷ベースによるマーケットシェアの分析を継続実施した。
2	サロンユーザー意識NET調査 (サロンの利用に関する動向調査)	調査委員会	平成16年5月 及び10月	女性サロンユーザーのサロン評価、サロン選択行動、ヘアスタイル意識等を明らかにすること、また、2002年度調査と比較を行い、トレンドの変化を調査した。 対象者:15～59歳の女性で、最近1年間に3回以上サロンを利用している者 調査方法:インターネット調査(IMI ネットアンケートモニター会員) 調査範囲:全国 調査スケジュール: 春期調査 平成16年5月20日～25日 秋期調査 平成16年10月7日～12日 春秋の2回 発信数:各期 30,000 調査項目:サロンの利用状況、施術内容、店頭商品購入状況等 報告書:サロンユーザーWEB調査[2004年調査]結果概要
3	第3回NBAカレッジの開催	イベント委員会	平成16年11月25日(木)	NBA会員会社の社員に対し、理美容に関する資質の向上を図るため、第3回NBAカレッジを開催した。 参加者:196名(会員会社社員) 講演内容: (1)「ヴォーグ流メディア・ブランド化戦略」 日経コンデナスト社 代表取締役社長 斉藤 和弘氏 (2)「サロンに必要なブランドアイデンティティ」 株式会社髪書房 代表取締役社長 児玉 勝彦氏
4	サロン環境研究	環境委員会	平成16年6月～ 平成17年3月	サロン環境研究 (1)サロンの実態研究 「美容室における業務用製品の使用実態調査」を実施し、今後の環境対策の参考の資とするため、アンケート調査を実施した。 ・調査時期:平成16年9月～11月 ・調査方法:アンケート郵送/回収 ・配布/回収数:500軒/87軒 調査結果については、ホームページに掲載する。 (2)排水問題研究 「サロンからの排水は環境に悪いのか、何が問題なのか」を全体テーマとして、勉強会を実施し、問題の検討を行った。 内容: 1.「排水に関わる一般知識と環境問題」(8月19日) 講師:富士総合研究所 特任コンサルタント 山辺功二氏 2.「ガソリンスタンド業界における排水・環境問題への取組」(10月13日) 講師:社団法人全国石油協会 環境経営支援部長 渡洋二郎氏 3.「クリーニング分野における排水・公害関係について」(10月13日) 講師:日華化学(株)ハウスホールド 開発部部长 山崎英二郎氏 4.「理美容業界の排水分析とその評価及び環境影響」(11月17日) 講師:内藤環境管理株式会社 環境分析部部长 石澤牧子氏 5.「ドイツ企業に環境コミュニケーションを促進するきっかけを与えた排水問題」(12月8日) 講師:神戸山手大学人文学部文化環境学科教授 K.H. フォイヤヘアト氏
5	全国理美容製造者協会(NBA)ホームページ 2004年度版更新	広報委員会	平成15年4月～ 平成16年3月	NBAホームページの更新を図ることにより、NBAの活動状況を広く理美容業界にPRする。 2004年度のホームページを次のとおり更新した。 (1)2003年度版NBAサロンユーザー調査報告書の掲載 (2)平成15年度事業報告書の掲載 (3)平成16年度事業計画書の掲載

平成16年度事業報告 2/2P

	事業名	担当	時期	概要
6	理美容業界VANの啓蒙と普及活動	流通委員会	平成16年4月～平成17年3月	<p>理美容業界VANの業界内利用の促進を図り、メーカー・代理店間のEDI化による相互の効率化を目指すため、VAN利用の啓蒙・普及活動を行った。</p> <p>(1)流通オープンセミナーの開催 期日：平成16年11月11日(木)13:00～18:30 会場：東京都文京区 椿山荘タワー館 参加者：92社 189名 理美容業界VANが業界EDIインフラとして実質的に稼働し、標準化が進んでいることを告知した。 NBA以外のメーカーの参加は19社で、業界全体へのアピールができた。</p> <p>(2)導入推進のための代理店訪問をNBAメーカー協同で実施、代理店側での使用するパッケージシステムについても検討、今現在最適と思われるシステムの推奨も行った。</p>
7	業界統一基準作り	流通委員会	平成16年4月～平成17年3月	<p>理美容業界のEDI化のベースとなる業界標準を作成し、業界全体の効率UPを図る。</p> <p>(1)理美容業界VANの請求データフォーマット概略作成。 (2)ITFコードの業界標準仕様の作成。 (3)コードウェブ割のJAN印字位置等の標準仕様決定。 (4)業界統一伝票の業界標準仕様の作成。 上記を行い、「業界統一伝票マニュアル」にまとめあげ、日本国内に標準化を推進している。 「業界統一伝票マニュアル」は、経済産業省外郭団体の財団法人流通システム開発センターより出版された。</p>
8	物流システム研究	流通研究会	平成16年4月～平成17年3月	<p>理美容業界内の物流システム全般を考察し、提言できる人材の育成を目的に開催した。</p> <p>(1)委員会・分科会メンバーに対するセミナー 延べ9回開催 (2)各種WEB受注システムの研究 (3)代理店向け業務パッケージシステムの研究 (4)米国での美容チェーン研究 物流基礎研究と効率化に関して研究を進め、業界において今後必要とされる仕組みについて調査を行ってきた。 システム化を進めるに十分な環境下でない代理店においても効率的にメーカーに発注をかける仕組みは必要との判断からWEB発注システムについても、調査研究を行ってきた。 米国最大の美容室チェーンの物流システムについて、流通委員会の立場から報告を行った。</p>
9	第7回NBA世界最大のサロンチェーン視察・訪問ツアー	イベント委員会・流通委員会	平成16年9月9日～19月25日	<p>イベント委員会と流通委員会共同主催 訪問先：ミネソタ州ミネアポリス、ユタ州ソルトレイクシティ 参加者：25名 概要：ミネアポリスでは、 (1)「モール オブ アメリカ」の見学、 (2)世界最大のサロンチェーン リージス社を訪問、講演、リージス社のサロン見学。 (3)グレート・クリップスの本部及びフランチャイズサロンの見学・訪問。 ソルトレイクシティでは、リージス社の物流センターを訪問・見学 ソルトレイクシティの最終日には、タカラUSAの平岡氏による講演「最新アメリカ美容業界事情」を拝聴し、その後、参加者によるパネルディスカッションを開催した。 報告書：NBA最大のサロンチェーン視察・訪問ツアー帰国報告書</p>